

小山敦代先生へ

弔辞

福井大学学術研究院基盤看護学 上野栄一

小山敦代先生の突然の訃報に接し、ここに謹んで哀悼の意を捧げます。

小山先生と初めてお会いしたのは、平成3年度第1回京都府看護教員養成講習会で、看護教育を教わりました時です。素晴らしい教育観をお持ちで、今でも患者のための看護、学生の視点での教育、そして教育も看護も思いやりが大切と教えられたことを覚えております。

小山先生の看護観は、手で触れて、観て、五感を働かせるということを何度も教えていただきました。また、先生は、笑顔でいつも対応してくれました。いつも元気をいただきありがとうございました。先生は、研究については、看護職の看護基礎教育・看護継続教育に関する研究、看護における補完代替医療/療法（CAM/CAT）に関する研究、主体的学習者育成の看護教育方法に関する研究を専門にされていました。授業の中でも、学会でも先生の研究成果を聞かせていただきました。私の教育観は、小山先生から教えていただいたことが基盤となっています。

小山先生は、弘前大学大学院教育学研究科修了。国立病院看護師・附属看護学校教員・教育主事、福井県立大学看護短期大学部助教授、青森県立保健大学看護学科教授、明治国際医療大学看護学部教授、2015年聖泉大学看護学部・大学院教授、2018年度より同大学理事長・学長として、看護界のために教育に研究にご尽力されてきました。先生の教えは、常に患者目線、学生目線で、私も見習っています。また、後輩の指導にも活かしています。

先生は、多くの学会に所属され、学会運営、講演、座長を務められてきました。

第33回日本看護研究学会近畿・北陸地方会（聖泉大学）では、現地開催はできませんでしたが、適切なお対応をいただきましたこと、次の地方会につなげていただき感謝いたします。

小山先生とは、6月に電話でお話をしたのが最後となりました。最後に先生からいただいた言葉は、「頑張りましょう」でした。先生の「頑張りましょう」は「いつも一緒に」です。いつもみんなを支えていただき感謝します。

最後に、いつも私たちをあたたかい目で見守ってくださった小山先生に感謝いたします。先生からいただいたお言葉を胸に、先生の教えを活かし、先生の分までがんばろうと思います。

長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。

衷心より御冥福を祈り弔辞といたします。

